

インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No.183

2017年9月11日

発行所 兵庫教育文化研究所

〒650-0004

神戸市中央区中山手通 4-10-8

自治的な生徒会活動って？

自治的諸活動と
生活指導部会

8月、丹波市の中学校で自治的諸活動と生活指導部会を開催しました。現在、生徒会役員として活動している生徒との意見交流を通して、生徒会活動を始めるきっかけや、実際にやってみて感じたことやしんどかったことなど率直な思いを聞く貴重な時間となりました。

はじめに、参加者の簡単な自己紹介をおこなったあと、生徒からは現在担っている生徒会の役割や活動の内容についても紹介があり、その後意見交流に入りました。



生徒会活動を始めたきっかけは？

- ・学校全体を盛り上げたい、引っ張っていききたい
- ・先輩やきょうだいへのあこがれから、自分もやってみたい
- ・小学校での児童会の経験をいかして、さらにがんばってみよう
- ・周囲に誰もする人がいなかったのので、「じゃあ自分が！」と立候補した

きっかけはさまざまですが、強い思いをもって生徒会に立候補したことがうかがえました。

実際に生徒会活動に関わってみての感想は？ ○よかった ●難しい

- 人前で話をすることに抵抗がなくなった
- 多くの生徒の意見を尊重して考えることができるようになった
- 3年生を送る会を成功させたことで自信が深まった
- 人前に出ることで声をかける、かけられることが多く、みんなとのつながりが深くなった
- あいさつを考えることを通して、作文や小論文が上手になった
- 生徒会の新聞を発行するのに、同じことばかりで話題がない。ネタを見つけること
- 何か新しいことを提案するのにも先生を納得させるのが難しい
- 対立意見を多数決でなく話し合いで決定することが難しいときがある
- 提案する機会がいつの間にかなくなっていた
- 宿題との両立

生徒会担当の教職員が昼休みなどの時間を上手く活用してくれることや、大会前は部活動を優先させてくれることで、それほど負担とは感じていないようです。

生徒発案の企画として、「朝の学習の時間を利用してただ友だちとしゃべる時間を設けてはどうか」「小学校のたてわり班のように、全校生で遊ぶ時間を計画しては」といった提案もありました。

最後に、自治の力について意見交流をおこないました。「自分たちの意見が通らなかったときに自分たちで何とかしようとする動きがなかったのか」「生徒会は過去の先輩のとりくみが基準となっていてその思いを引き継ぎながら活動していることが多い。これまでとちがうこと、新しいことを始めるには多くのパワーがいる」「例年通りというのは教職員がいちばんほっとしているのだ、そこをのりこえて絶対やりたいという強い思いでむかってほしい」という所員からの思いを共有し交流を終えました。